

「おまけの人生Ⅱ」

1. 満65才から再スタート

私は、前号でも少しご紹介しましたが、昨日(7月11日)、満65才の誕生日を迎えました。いよいよ、年金世代のど真ん中に突入した訳です。確かに、年金は基礎+比例報酬+基金と3本立てですが、半分の期間を占めたサラリーマン時代の年金基金がつぶれており、比例報酬も基金も少ないのです。まあ、贅沢言ってもしかたがないのでもらえる事に感謝しています。

お蔭様で、自営で経営コンサルタント業を行なっていますので、経験の蓄積がものをいう仕事という特性を活かして「百歳現役」を目指して行くことができます。その為には、健康が一番なので、2年前からウォーキングでダイエットに取り組んで、月200キロを目標にしています。1日約7キロなのですが、私は、家と事務所を行き来するのに、例えば、朝は氏神様にお参りして2.5キロ30分、昼は桑津経由で2.5キロ30分という具合に「2.5キロ30分」のコースを5本見つけています。この5本を組合せて毎日実践して、それをエクセルに記録しています。

体力・健康は、ウォーキングで行いますが、頭のボケ防止は、職業柄、物を書くという習慣がベースにありますので、まず、安心な方と思っています。しかし、何かに挑戦しないと若さがなくなるので、同じように、2年前からカラオケに挑戦しています。最初は、三波春夫さんの俵星玄蕃から挑戦しました。8分40秒もある歌謡浪曲という独自のジャンルなのです。この長い曲にチャレンジして、有名な三波さんの早口のセリフ部分にも挑戦したのです。元来、歌は苦手な方なのですが、下手の横好きというように、毎日、亡くなった妻を相手にパソコンのカラオケで歌っていたのです。今では、新曲にも挑戦するまでになっています。

2. 中小企業家同友会に学ぶ

「長年のツケ」は、メタボだけではないのです。実は、人に会うという事が苦手なのです。最近では、大阪商工会議所南支部の経営サロンや中小企業家同友会の会合に参加するようになってきました。このキッカケは、2011年11月に京都で行われた中小企業会同友会の経営フォーラムに参加した時に、ゲスト講演された兵庫県の日本ジャバラ工業の田中社長が「支部長している会社は赤字ではダメだ。経常利益率20%、自己資本率50%以上を目指せ」とパワフルに「檄」を飛ばされたのです。

私は、この田中さんの言葉で自分も2012年1月に再入会して、今日に至っています。この間に、経営指針セミナーの「理念」「方針」「計画」の3つのコースも続けて受講し、同友会の理念などを再認識しています。まず、「3つの目的」として

一、良い会社を作ろう

同友会はひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします

一、すぐれた経営者になろう

同友会は、中小企業家の自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします

一、経営環境を改善しよう

同友会は、他の中小企業団体とも連携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的、平和的な繁栄をめざします

とブレイクダウンしており、さらに、

「自主・民主・連帯の精神で国民や地域と共に歩む中小企業を目指します」

と締めくくっているのです。「中小企業」を「我社」に置き換えると「自主的近代化」「強靱な経営体質」「資質の向上」「外部環境の認識」などのキーワードが列挙されているのです。「自主・民主・連帯の精神」も経営者ばかりでなく、組織人として求められるものです。

3. 個人の自主的近代化と強靱な経営体質

この同友会の理念を自分に置き換えてみると、満65才、シルバー世代に入ったのです。高齢化には逆らえず、ますます、保守的になって行く訳です。幾ら「百歳現役」と叫んでも時流から外れると経営コンサルティングもうまく行かないと思うのです。自ら新しい事にチャレンジする事がポイントで、運よく同友会に再入会した頃、所属支部でFacebook(以下FBと略)を本格的に活用し始めたのです。確かに、メーリング・リストで流れる情報よりも、写真などの情報もあり、レスポンスもあるので楽しいのです。

そこで、私は、一念発起してFBを始めたのです。すると、当社のメルマガでFBを始めたという記事を書いた事から横浜に住んでおられるY氏(昔、セミナーに来られた方)からFB友達の申請を頂いて、SNSの魅力を実感したのです。FBにダイエットを始めたと書いた際に、すかさず「公開宣言」と突っ込んで下さって、以後、毎日、ダイエットの報告を書くようになったのです。「7人の友だち」と言いますが、FB友達も有難いものです。FBだけが近代化ではないですが、新しい事へのチャレンジ精神が湧いてきたのです。

また、強靱な経営体質の面では、「経営体質」=「資産x貯蓄x収入」と考えているのですが、まず、資産は自宅も事務所も駐車場もクルマも主だったものはローン完済で自分の物で、この4つで月4万円の管理費で済むようになっていきます。貯蓄は少ないながらもありますし、収入も「年金」というものが加わって安定し、余剰分は貯蓄に回せるようになっていきます。個人的には、不完全ながら「百歳現役」に向けての財務体質は強化できています。

4. 「百歳現役」

残るは自分の気力だけなのです。サミュエル・ウルマンの「青春」という詩は有名ですが、「気持ち」が大切なのです。お蔭様で仕事は経験が物をいう職業なので、お客様へのサービスの面で多くの時間を割く必要がなくなったのです。「時間を割く必要がない」という事は、時間を持って余すという事なのです。息子と一緒に仕事していますが、自分が手持ち無沙汰になると息子の事が気になるので思わず干渉してしまうのです。

これでは、折角、息子が一生懸命になって仕事をしているのに邪魔するだけなので、毎日の30分ウォーキングで3~4回約2時間、そして、1日1回、30分ウォーキングと合わせてジャンカラでシルバー割引により30分100円という安さで、フリードリンクを頂いて、その上、カラオケで6曲を歌うという習慣をつくるようになりました。時間をどのように投資するかという訳ですが、一石二鳥という事をやっています。

また、ウォーキングやカラオケで事務所から出るのも、気分転換にもなっていますし、同時に、体や頭部の健康にも役立っています。右掲はタナベさんの「変革」という訓ですが、まず、「気づく」という事が大切で、それを実践できるか否かにかかってくるのです。「やり方」を変えて「リズム」を変えると新しい習慣が実践できるようになるのです。その上で、「気合」という精神力というものの重要性を実感するようになっていきます。確かに、「よいしょ」という掛け声から動きが始まる老人特有のスタイルがありますが、その状態が理解できる瞬間が増えて来たのです。ともかく、「気合」だけを心がけて「おまけの人生」を歩みます。

<p>変革 自分を変え やり方を変え リズムを変えよう タナベ経営</p>

【AMIニュースのバックログは<http://www.web-ami.com/siyo.html>にあります！】